



今の特集

コロナウイルスに徹底抗戦!!

2020年1月8日にWHO(世界保健機関)が新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を認定してから数ヶ月が経過しました。

日本国内全体に広がるコロナウイルスは、私たちが暮らす北海道でも驚異的な感染者数を記録し、日々の生活にまで支障をきたす一大事となっています。

今回は、歯科医療の現場でできること、シュンデンタルができることを特集します。

シュンデンタルの取り組み

1 消毒・滅菌対策の徹底

2月号で「診察台の水」について特集を組みました。

当院では開院時より、感染対策に万全を期しております。

診察台の水は感染対策の前線にあるものですが、それ以外に器具や器材の徹底滅菌を行うことが非常に重要です。当院では、それぞれの器具に適した滅菌レベルで完全滅菌できるよう、様々な種類の滅菌器を設備し、皆さまへ安全な診療をご提供しております。

世界最高基準
滅菌器(クラスB)



院内感染のリスクをゼロに
治療前に大事なことをしっかりと

ヨーロッパ規格
高圧蒸気滅菌器(クラスS)



ハンドピースも中まで滅菌
患者さまのお口に入るものだから

自動高圧蒸気
滅菌器(クラスN)



見えない部分だからこそ
徹底した滅菌を

当院の感染対策はこちらからご覧いただけます。



2 次亜塩素酸を使用した空間の除菌

コロナウイルスは湿度に弱い。

加湿器を使い、「湿度50% 温度22.22度」でウイルスの活動が収まることが判明したとの報告があるそうです。基本的にウイルスは湿度と温度に弱いものです。

インフルエンザも春になれば収束し、冬になれば再燃します。

そのことから、今現在やれることをシュンデンタルでは徹底して行っています。

1.待合室 2.各診察室 3.全ての空間

POINT 室温 22度 湿度 50% 次亜塩素酸 20ppm

上記の条件で加湿器や空気清浄機を用いて、抗ウイルス効果が期待される薬を人体に影響の出ない濃度で全ての空間を循環させています。

まだ収束が見えない状況ではありますが、出来れば1日でも早く元の暮らしに戻りたいものです。

過度に過敏にならずに、それぞれ一人ひとりが出来ることをしっかりと。

シュンデンタルでは、医療現場でできることを最大限、徹底的に行っていきます。

スペシャル付録

サバ缶大ブレイクな冬キャンプ～月

某日某場所にてキャンプをしていました。

夕暮れ時、テントの中のストーブ上でサバの缶詰を温めていました。

ゆらぐ焚き火を見ながらオシャレにお酒を飲んでいました。

パコ～ん!!! 異常音発生～!?!?

サバの缶詰が爆発してました。。。。

テントの中でサバが・・・大ブレイクしていました・・・

サバの香りに包まれて、しっぽりと夜は更けていきました(泣)

もう、もうそのテントは使いたくない!! っつか、使えない。。。。

だって、サバの匂いが強烈すぎるんですもの(苦笑)



シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>